

第十八回
三途亭田舎
名義プロデュース

博多・天神落語まつり

北九州公演

古今亭 文菊
「ここんでいぶんきく」



桂 二葉
「かつらによろ」



林家 たい平
「はやてやたらん」



桂 米團治
「かつらよねたんじ」



春風亭 昇太
「しんぷんかたしんじょうた」



豪華絢爛東西落語夢の祭典

侍つてまゝしたる風物詩

博多・天神落語まつり in 小倉

来場者数、シリーズ累計
30万人突破!

2024. 11/2 土

12:30 開場 13:00 開演 [15:30 終演予定]

J:COM北九州芸術劇場大ホール

出演 桂 米團治 / 春風亭 昇太 / 林家 たい平
古今亭 文菊 / 桂 二葉 ※都合により出演者が変更になる場合がございます。

主催: FBS福岡放送 / ピクニック
企画: 円楽っちの親友 林家たい平 / オフィスマめかな / アム・サポート
制作: アム・トゥーワン

抱腹絶倒、
噂の天神落語、
小倉に上陸!

◎一般発売: 8/3(土)より

全席指定(税込) 6,000円 (当日券 6,500円) ※6歳未満の方はご入場できません。

プレイガイド ローソンチケット / チケットぴあ / e+ (イープラス <https://eplus.jp>)
(ローソン / ミニストップ / セブン-イレブン / ファミリーマート)

ローソン
チケット

WEBにてお申し込み下さい。
QRコードをご利用頂くか、
下記URLにアクセスして下さい。



Lコード
87030

<https://l-tike.com/htrakugo24/>

チケット
ぴあ

WEBにてお申し込み下さい。
QRコードをご利用頂くか、
下記URLにアクセスして下さい。



Pコード
562-703

<https://w.pia.jp/t/rakugomatsuri/>

博多・天神落語まつり in 小倉



桂米團治 [かつら よねだんじ]

- 1958(昭和33)年 大阪府生まれ。
- 1978(昭和53)年 桂米朝に入門。桂小米朝を名乗る。
- 1992(平成 4)年 大阪府民劇場奨励賞を受賞。
- 2005(平成17)年 兵庫県芸術奨励賞を受賞。
- 2008(平成20)年 五代目 桂米團治を襲名。
- 2016(平成28)年 上方落語協会副会長就任。

人間国宝の三代目桂米朝を実父にもち「落語界のプリンス」と称される一方で、俳優としても芝居・映画・テレビに登場するなど、活躍のフィールドは幅広い。多彩な経験と長年の精進に裏打ちされた、明るく軽やかな話術が評判を集めている。またミュージカルやクラシック音楽に造詣が深く、特にモーツァルトに傾倒。その趣味を活かして各地でオーケストラと競演し、オペラと上方落語の合体である「おべらくご」という新分野を確立した。伝統と共に独自の世界を探究する姿勢はかねてから高く評価されている。2008年には五代目桂米團治を襲名し、全国で披露公演を行って大きな話題に。全国で襲名披露を行うのは異例のケースではあるが、各地のチケットは軒並み完売を記録。改めて高い人気ぶりを示した。襲名後は「王道を見失わずに歩む」を信条として本格的に古典落語に取り組んでおり、上方落語の大名跡として今後の活躍に期待が寄せられている。2019年には還暦・噺家生活40周年記念独演会を全国で30公演実施。また先代が上方落語の歴史に残る名作「代書」を残していることを受け、自らも創作落語への意欲をにじませている。



春風亭昇太 [しゅんぷうてい しやうた]

- 1959(昭和34)年 静岡県生まれ。
- 1982(昭和57)年 春風亭柳昇に入門。春風亭昇八を名乗る。
- 1986(昭和61)年 ニツ目昇進。春風亭昇太となる。
- 1989(平成 元年) NHK新人演芸コンクール 優秀賞受賞。
- 1992(平成 4)年 真打昇進。
- 2000(平成12)年 国立演芸場花形演芸大賞 大賞受賞、文化庁芸術祭 大賞受賞。
- 2016(平成28)年 日本テレビ『笑点』六代目司会者に就任。
- 2019(令和 元年) 公益社団法人落語芸術協会会長就任。
- 2020(令和 2)年 文化庁長官表彰 受賞。
- 2022(令和 4)年 東海大学人文学部客員教授就任。日本城郭文化特別賞。

新作落語の創作活動に加え、昇太独自の解釈で古典落語に取り組み、文化庁芸術祭大賞を受賞するなど、新作、古典問わず高い評価を得ている実力派真打。演劇への出演も多く、舞台「熱海五郎一座」(新橋演舞場)「ザ・フルーツ」(駅前劇場)ドラマ「小さな巨人」映画「祈りの幕が降りる時」他、役者としても活躍し、ミュージシャンとのライブも意欲的に行なうなど、ジャンルを越えて積極的に活動しており、長年にわたる「お城めぐり」は城郭研究者も認める知識で、著書の発行、城郭フォーラムのパネラー、講演、城イベントの出演も多い。



林家たい平 [はやしや たいへい]

- 1964(昭和39)年 埼玉県生まれ。
- 1988(昭和63)年 林家こん平に入門。林家たい平を名乗る。
- 1992(平成 4)年 ニツ目昇進。
- 2000(平成12)年 真打昇進。
- 2008(平成20)年 国立演芸場花形演芸大賞 金賞受賞、芸術選奨 文部科学大臣新人賞受賞。

日本テレビ『笑点』大喜利のレギュラーメンバーとして、お茶の間でもすっかりお馴染みの林家たい平。師匠こん平ゆずりの、底抜けに明るくエネルギッシュなキャラクターで知られている。有名人の声真似から動物の鳴き真似、花火の効果音といった多彩な芸に加え、流行のネタ、また生まれ故郷である秩父ネタを得意とする。古典落語にも独自の解釈と現代にも通じるわかりやすいアレンジを加え、落語初心者から通まで幅広い層を楽しませることができる。たい平ワールドと呼ばれる落語には老若男女数多くのファンを集め、定期的に行う独演会を中心に全国でも多くの落語会を行っている。毎年恒例となる「たい平の芝浜を聴く会」は今年で28年目を迎える。映画館で寄席の臨場感を味わえる映画館落語をプロデュースするなど、落語ファンのすそ野を広げることに力を入れている。武蔵野美術大学卒業、これまでに絵画個展・波佐見焼展を開催。ふるさと秩父に《たい平美術館》を開館。2010年から母校にて客員教授を務めている。



古今亭文菊 [ここんてい ぶんぎく]

- 1979(昭和54)年 東京都生まれ。
- 2001(平成13)年 学習院大学文学部卒業。
- 2002(平成14)年 古今亭圓菊に入門。
- 2003(平成15)年 前座となり、菊六を名乗る。
- 2006(平成18)年 ニツ目昇進。
- 2008(平成20)年 落語一番勝負 若手落語家グランプリ 受賞。
- 2009(平成21)年 NHK新人演芸大賞 大賞受賞。
- 2012(平成24)年 真打昇進、古今亭文菊と改名。浅草芸能大賞 新人賞受賞。
- 2015(平成27)年 文化庁芸術祭 大衆芸能部門 優秀賞受賞。
- 2020(令和 2)年 国立演芸場花形演芸大賞 大賞受賞。
- 2021(令和 3)年 国立演芸場花形演芸大賞 大賞受賞。

古今亭圓菊の最後の弟子として、2002年に入門。熱心に芸を磨き、ニツ目昇進からまもない2008年、落語一番勝負若手落語家グランプリを獲得。若手の筆頭株として注目を集めた。その後、2012年、28人抜きで真打昇進を果たす。2012年は抜擢真打が3人生まれた年で、春の真打は春風亭一之輔、秋に生まれたのが古今亭志ん陽と古今亭文菊である。入門からわずか10年で真打となり、落語協会においては異例のスピード出世の記録を作った。



桂二葉 [かつら によう]

- 1986(昭和61)年 大阪府生まれ。
- 2011(平成23)年 桂米二に入門。
- 2011(平成23)年 梅田太融寺にて「道具屋」で初舞台。
- 2021(令和 3)年 令和3年度NHK新人落語大賞 優勝。
- 2022(令和 4)年 第17回「繁昌亭大賞」大賞受賞。
- 2023(令和 5)年 第77回文化庁芸術祭賞「関西文化圏賞 ニューパワー賞」受賞。
- 2023(令和 5)年 第40回「咲くやこの花賞」受賞。
- 2023(令和 5)年 フジテレビ『ぼかぼか』水曜レギュラー出演。
- 2023(令和 5)年 朝日放送テレビ「探偵!ナイトスクープ」新探偵として加入。